

令和8年度第1回福津市文化財保護審議会

日時：令和8年8月24日(月)13時半～

場所：福津市役所2階庁議室

〔出席者〕

☐桑田委員、☐大賀委員、☐田中委員、☐辻田委員、☐鎌田委員

〔事務局〕

☐薄教育長、☐宮原教育部長、☐寺島文化財課長、☐松永文化財係長

☐田上文化財係長、☐南主査、☐永島主査、☐春口主事

☐井浦史跡整備係長、☐崎野主任

次 第

1. 辞令交付

2. あいさつ

3. 議事録作成方法

4. 議 事

○発掘調査等今年度事業予定・報告

○選択文化財福間浦盆踊りの記録冊子公開について

○指定等文化財について

○市内文化財のリスト作成について

○津屋崎古墳群今年度事業予定・報告

○世界遺産関係今年度事業予定・報告

5. その他

(参 考)

議事の順番

4. 議 事

- 4-1 発掘調査等今年度事業予定・報告
 - ・今年度事業予定
 - ・津屋崎塩田遺跡第 5 地点の調査報告
- 4-2 選択文化財福間浦盆踊りの記録冊子公開について
- 4-3 指定等文化財について
 - ・波折神社国有形文化財登録について
- 4-4 市内文化財のリスト作成について
- 4-5 津屋崎古墳群今年度事業予定・報告
- 4-6 世界遺産関係今年度事業予定・報告

令和 8 年度 福津市文化財保護審議会関係者名簿

	所属等・役職	氏 名
委 員	福津郷土史会（郷土史）	大賀 康子
	海の道むなかた館（日本史）	鎌田 隆徳
	学識経験者（中世史）	桑田 和明
	福岡工業大学准教授（民俗文化財）	田中 久美子
	九州大学教授（考古学）	辻田 淳一郎
事 務 局	教育長	薄 俊哉
	教育部長	宮原 栄介
	文化財課長	寺島 徹
	文化財課主幹（世界遺産担当）	堀田 典宏
	文化財係長	松永 通明
	文化財係長	田上 浩司
	文化財係	南 時夫 永島 聡士 春口 将輝
	史跡整備係長	井浦 一
	史跡整備係	崎野 祐太朗
	世界遺産係長	寺島 徹（兼務）
	世界遺産係	池ノ上 宏

令和8年度発掘調査等事業予定

1. 発掘調査事業

遺跡名	事業種別	所在地	調査予定期間	調査要因	備考
津屋崎塩田遺跡第5地点	受託事業	津屋崎5丁目	5月7日～6月22日	宅地造成計画	※調査終了
在自西ノ後遺跡	受託事業	津屋崎7丁目	協議中	宅地造成計画	※調査対象・時期等調整中
八竜遺跡	補助事業	福間南4丁目	協議中	個人住宅計画	

2. 文化財調査報告書作成事業

遺跡名	事業種別	所在地	発掘調査年度	調査要因	備考
草場遺跡第3地点	受託事業	日蒔野六丁目	平成18年度	区画整理事業	原稿作成（令和13年度刊行予定）
割畑遺跡第2地点	受託事業	日蒔野六丁目	平成16年度	区画整理事業	原稿作成（令和13年度刊行予定）
貴舟遺跡	受託事業	日蒔野六丁目	平成17年度	区画整理事業	原稿作成（令和13年度刊行予定）
上西郷タナカ遺跡第1地点	受託事業	日蒔野五丁目	平成20、21年度	区画整理事業	原稿作成（令和13年度刊行予定）
上西郷ニホンスギ遺跡	受託事業	日蒔野五丁目	平成21年度	区画整理事業	原稿作成（令和13年度刊行予定）
草場遺跡第2地点	受託事業	日蒔野六丁目	平成18、19年度	区画整理事業	原稿作成（令和13年度刊行予定）

津屋崎塩田遺跡第 5 地点発掘調査

所在地 : 福津市津屋崎五丁目 2162 番 4、2163 番 8、2164 番 1、2164 番 2
調査要因 : 宅地造成工事
調査期間 : 令和 8 年 5 月 7 日～令和 8 年 6 月 22 日
調査面積 : 274 m²
調査担当者 : 文化財課文化財係 春口 将輝

■地理的・歴史的環境

津屋崎塩田遺跡は宝永 2 年 (1705) に幕府から塩浜開発の許可を得て入海を干拓し、寛保 3 年 (1743) から明治 44 年 (1911) まで操業された入浜式塩田である。塩田には一番から二十三番までの区画番号が付けられており、今回の調査地は十七番塩田の一部に所在する。津屋崎塩田の発掘調査はこれまでに 4 回の発掘調査がおこなわれている。調査地北東側で実施された津屋崎塩田第 4 地点では、東縦川に直交する溝が確認されており、17 世紀～18 世紀の陶器片が出土している。

■検出遺構・遺物

【遺構】

溝 24 条、円形土坑 13 基

【遺物】

土器、陶磁器、木杭、鉄器、レンガ、濱石、石炭、スラグ

■所見

今回の津屋崎塩田遺跡第 5 地点は宅地造成にかかる道路部分を調査対象範囲とした。調査地南端部と北端部の塩田検出面の比高差は約 50 cm あり、南端部から北部にかけて緩やかに傾斜し、北部から北端部にかけてスロープ状に傾斜する。

調査地では東縦川に直交した溝を 19 条、平行する溝を 5 条、円形土坑を 13 基検出した。直交する溝は幅 20 cm 前後の細溝が殆どであり、細溝内には礫と石炭ガラが堆積する。調査地内に海水または鹹水を通すための暗渠の役割をしていた可能性がある。調査地南部では東縦川に直交する幅約 4 m の大溝 (SD-18) を検出した。SD-18 の両壁面には海水漏洩防止のための粘質土が確認された。SD-18 からは杭が 1 本、甕の破片がまとまって出土している。円形土坑は粘質土を含むもの、細溝と同じく礫と石炭ガラが堆積するもの、何も含まないものに分かれる。調査地中央部では 3 基の土坑 (SK-12・13・14) が重複して検出された。調査地北部でも 3 基の土坑 (SK-06・07・27) が重複して検出されており、SK-06 からは陶器片、被熱円礫、スラグが出土した。SK-06 の西側では杭が 3 本出土した。



津屋崎塩田遺跡第5地点位置図 (S=1/5000)



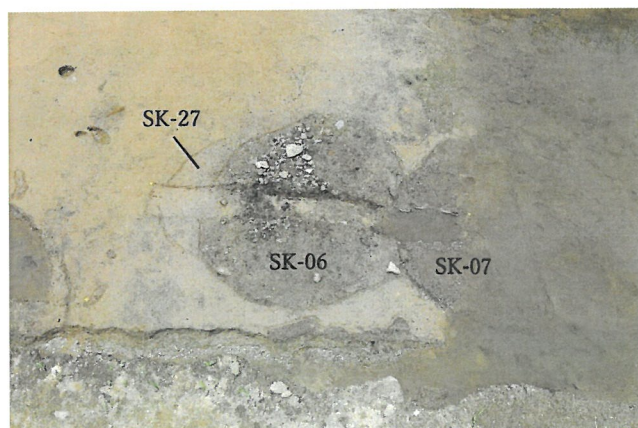
調査区全景 (真上から)



SD-18 検出状況 (東から)



SK-12・13・14 検出状況 (西から)



SK-06・07・27 検出状況 (東から)

波折神社建造物の国有形文化財（建造物）登録について

1. 登録内容

- (1) 名 称 : 波折神社本殿、拝殿及び幣殿、手水舎（てみずしゃ）、二ノ鳥居
(1) 所 在 地 : 福津市津屋崎四丁目 1386
(2) 所 有 者 : 波折神社
(3) 登録年月日 : 令和 8 年 7 月 9 日
(4) 評 価 : 【本殿、拝殿及び幣殿】造形の規範となるもの
【手水舎、二ノ鳥居】歴史的景観に寄与しているもの
(5) 物件概要 : 別添資料のとおり

2. 登録事務

登録答申 : 令和 8 年 3 月 26 日

官報告示 : 令和 8 年 7 月 9 日

登録証伝達 : 令和 8 年 8 月 6 日

3. その他

○8月6日に有形文化財登録奉告祭（神社主催）、文化財登録証伝達式（市主催）を開催。

○市広報 10 月で特集記事掲載予定。

○文化財紹介資料（別添）を作成し、関係各所で配布



波折神社 本殿 拝殿及び幣殿 手水舎 二ノ鳥居

近代津屋崎の発展を象徴する神社建築

中世以来の港湾集落「津屋崎」の産土神（うぶすながみ）である波折神社。鎌倉時代に現在の位置に遷座したと伝えられ、それ以来、一貫して津屋崎のまちなみの中核を担ってきました。現存する社殿は明治～大正期に建てられた建造物ですが、本殿の妻飾りにみられる華やかな彫刻や拝殿内部の豪壮なつくりは近代津屋崎の旺盛な経済力を私たちに見せつけます。近代に塩の積出港から海浜リゾート地として変貌を遂げた津屋崎の発展を物語る貴重な文化財です。

本殿、拝殿及び幣殿は造形の規範となる建造物として、手水舎、二ノ鳥居は歴史的景観に寄与する建造物として評価され、国の有形文化財（建造物）に登録されました。



本殿西面妻飾り。波濤文と麒麟を表す。

編集・発行 : 福津市教育委員会文化財課（福岡県福津市中央一丁目1番1号）
発行日 : 令和8（2026）年7月15日

本殿（ほんでん）



明治 23（1890）年建立。令和 3（2021）年改修。三間社流造。妻飾りを唐獅子、麒麟、波濤文などの彫刻で華やかに飾る。

拝殿（はいでん）及び幣殿（へいでん）



大正 9（1920）年建立。昭和 54（1979）年改修。切妻造の妻入りで、背面に幣殿を接続する。化粧屋根裏天井で二重虹梁を現した雄大なつくり。

手水舎（てみずしゃ）



大正 11（1922）年建立。桁行一間、梁間一間。切妻造。南に井戸、北に手水鉢を配す。建立年は手水鉢の年紀による。

二ノ鳥居（にのとりい）



大正 9（1920）年建立。花崗岩製の明神鳥居。拝殿及び幣殿の再建に伴い建立。



拝殿内部の二重虹梁

津屋崎古墳群

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
整 備 (災害復旧)	◆新原・奴山 39～43 号墳 (実施設計等) ○生家大塚古墳 (実施設計等、復旧工事)		入札 整備指導委員会 8/7● 入札 実施設計 (縦横断、用地測量含む)	入札 実施設計 (縦横断測量・地盤調査含む)	1 工区 文化庁現地協議●9/29 ●整備指導委員会 10 月 ●現状変更許可申請								
	◆新原・奴山 39～43 号墳 ○生家大塚古墳	●県・九歴協議 九歴職員派遣→	生家大塚古墳確認調査	新原・奴山 39～43 号墳確認調査									現地説明会●
史跡公有化	◆宅地等	移転交渉											
維持管理	◆草刈清掃				史跡地・散策路草刈清掃 (2 回/年)								
	◆竹林・樹林整理				新原・奴山古墳群展望所草刈清掃 (10 回以内/年)								竹林・樹林伐採 (1 箇所/年)
公開活用	◆新原・奴山古墳群				古墳見学・世界遺産学習 (福津・宗像市小中学校)								古墳まつり
	◆歴史資料館												企画展 発掘速報展
													●歴史工房カメラ① 歴史工房カメラ②● ●歴史講座 (内容検討中)

令和8年度 福津市世界遺産関連行事(事業報告及び予定)

<神宿る島沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会>

【体制の整備・運営】

○令和8年度「神宿る島沖ノ島と関連遺産群」専門家会議

・第1回 令和8年6月22日(月)(中小企業振興センター)

・第2回 令和9年2月頃予定

○世界遺産学習帳の配布

環境学習編 小学4年生 864名へ配布

地理歴史編 小学5年生 847名へ配布

○沖ノ島検定(上級)

令和8年9月5日(土)(道の駅むなかた館)

令和8年9月6日(日)(カメラアステージ研修室)にてそれぞれ実施予定

○世界遺産ユース・レポーター育成プログラム

子どもと地域の連携 福津市・宗像市の小5～高校生(30名程度)ユネスコ等の国際的な遺産
保護の現場で活躍する人材育成

事業説明会 令和8年8月23日(日)予定(公募中)

活動回数計 6回予定

【遺産群の公開活用】

○特別研究事業

テーマ「宗像における祭祀・信仰 -奉獻品および地域史的視点から考える-」

・令和8年6月27日(土)～令和8年6月28日(日)「第3回国際検討会」(メルキュール宗像)

・令和8年11月28日(土)オンライン会合予定

○国宝部会記者発表

令和8年6月3日(水)沖ノ島返納品の調査成果発表(金銅装甲冑)

TV6 社および新聞6社による報道

○世界遺産 海と神秘のカードラリー

令和8年7月20日(月・祝)～令和8年10月4日(日)

(市内5カ所にて配置、その他体験プログラムをとしてカメラアステージ歴史資料館と津屋崎
千軒なごみで実施し、カードを配布)

○世界遺産カードバトル大会

令和8年8月24日(水)(県庁よかもん広場 11階)予定

令和8年9月12日(土)(海の道むなかた館体験学習室)予定

令和8年9月26日(土)(スペース LABO ANNEX オープンスペース(北九州市))

○世界遺産「佐渡島の金山」との連携フォーラム開催

令和8年 11 月頃東京都内で開催予定。

○国内外の文化資源との連携事業

英国セインズベリー日本藝術研究所はヨーロッパにおける日本美術・文化研究の拠点。

沖ノ島とは世界遺産登録活動中から人的交流をしており、この研究所と国際連携を行う。

令和8年7月23日(月)世界遺産委員会サイドイベント(韓国・プサン)

令和8年10月4日(日)世界遺産・英国セインズベリーとの協定締結式(宗像大社神宝館)予定

○「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の無形の価値を活かしたインタビューブック制作

地元で登録活動に関わった方や、現在、保存活用に関わっている方のインタビューを予定。

○令和9年度の世界遺産認定 10 周年に向けた事業

・世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群登録 10 周年記念ロゴマーク一般投票

令和8年7月20 日(月・祝)～令和8年8月21日(金)

発表は令和8年 10 月初旬の見込み

・10周年特設サイト制作

<福津市>

○世界遺産学習(現在まで)

・市内小学校 のべ9回

・市内中学校 のべ1回

・市外小学校 のべ3回

○花いっぱい事業

令和8年5月9日(土) 勝浦郷づくり協議会と福津市観光ボランティアガイド会との共働での
菜の花採種

令和8年8月中旬ごろ コスモス種まき

令和8年11月14日(土) 勝浦郷づくり協議会及び市民団体との共働で菜の花種まき

○古墳まつり開催

令和9年3月上旬 主催は福津市観光協会

<その他>

○世界遺産検定20周年記念事業「全国の世界遺産地域を巡るデジタルスタンプラリー」

10月から来年3月まで 主催:NPO 法人世界遺産アカデミー(新原・奴山古墳群)

○他地域からの視察・情報交換

○古墳見学対応